



13日、英ロンドンで、デモの参加者と極右のデモ隊が衝突した際、負傷した白人男性を担いで運び出すパトリック・ハッチソンさん（ロイター）共同

【ロンドン＝沢田千秋】反人種差別デモ隊と極右集団の衝突があったロンドンで、白人男性の命を救った黒人男性が称賛を集めている。男性は英BBC放送に「すべきことをし、誰かが殺されるのを止めた」と発言。米国で黒人男性が白人警察官に殺害された悲劇を踏まえ、人種を問わず命を守る尊さを示した。

黒人男性はパトリック・ハッチソンさん。十三日、友人と反人種差別デモに参加中、ロンドン中心部で、デモ隊と白人男性がもめている現場に遭遇。男性は地面に倒れ

デモと衝突の白人救出 黒人男性に称賛

ロンドン

てげがをし、大勢から踏みつけられそうになっていた。ロイター通信によると、群衆は男性が極右メンバーだと叫んでいたという。

ハッチソンさんは「彼を肩に担ぎ上げると、友人たちが自分の周囲で盾になり、彼がさらにひどい扱いを受けないうよう守っていた」と回想。「私たちはただ、地面に倒れていた人間を思った。止めなければ悪い結末になっていただろう」と話した。この日、極右集団はロンドン中心部で暴徒化。百人以上が警察に拘束された。